

持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システム 世界農業遺産保全計画【概要版】

I. 計画期間

平成29年6月～平成34年3月

II. 保全計画の内容

本地域の農業システムの形成過程と今日までの継承を支えてきた「水のつながり」、「人のつながり」、「知恵のつながり」の3つの「つながり」を核に保全・継承していくことが、将来生じうる脅威や課題への対応策となりうるものとし、以下のとおり地域内外の多様な主体の参画とともに、相互の役割分担を明確にして対応策を講じていく。

水のつながり

水管理基盤を支える多面的機能保全組織のエリア拡大

- 水管理基盤、居久根の保全・再生、苗場の復活・管理への多様な主体の参画
- 契約講を基層とする農家主体の水管理支援

人のつながり

都市農村交流による共に支え合う人のつながりの拡充

- 消費者と生産者のさらなる信頼関係の進化（CSA、企業CSR）
- 大崎耕土の「宝」をつなぐGIAHSツーリズム（語り部育成、農泊・インバウンドの推進）
- 食文化（餅食、発酵食）の6次産業化による価値の共有

知恵のつながり

湿地生態系と暮らしを支える米づくりの拡充

- 農業遺産認証制度の導入（環境配慮＋生きもの調査）
- 認証制度を支える生きものモニタリング
- 新規就農者（Iターン・Uターン者）支援
- 農業遺産学習プログラムによる人材育成（副読本作成、生きものクラブ活動など）

1. 対応策と役割

(1)食料及び生計の保障

①農業システムの担い手確保・育成

◎は、取組の主たる役割を担う機関・組織を示す

取組	取組内容	役割
取組① 新規就農者の確保・育成 知恵のつながり 人のつながり	○担い手育成支援組織の連携による支援情報の一元化 ○地域内に所在する宮城県農業大学校を中心とした担い手育成プログラムの実施 ○有機栽培をはじめとする環境保全型農業による就農者支援プログラムの実施(有機栽培農家による栽培技術習得・経営支援)	◎各市町 農協 宮城県
取組② 集落営農等の設立支援 知恵のつながり 人のつながり	○既に取り組みを進めている集落営農農業法人の育成研修や農業経営に関する専門家派遣 ○農業機械や農地の取得や貸借に対する支援事業の実施 ○集落営農の設立支援（合意形成、営農計画の作成支援など）	◎農協 宮城県 各市町

取組③ CSAの促進 人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○普及に向けた都市住民の農業支援事業の実施 ○大学連携によるCSA調査・分析、普及計画の策定・実施 	◎協議会 農協 大学 各市町
--	--	-------------------------

②農業農村の価値化と共に支え合う仕組みづくり

取組	取組内容	役割
取組① 認証制度の 確立 知恵のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○米の認証制度の確立に向けた制度設計の検討 (高品質+生きものとの共生+公的機関の栽培認証) ○ブランディングに関するマーケティングと分析 	◎協議会 農協 宮城県 市町村
取組② 伝統技術を 活かした 6次産業化支援 知恵のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○6次産業化推進セミナー等の多様な担い手の育成を目的とした商品開発、起業支援 ○伝統的加工の知恵(発酵や餅など)を活かした6次産業化商品開発・施設整備への支援 	◎各市町 宮城県 地元企業

(2)農業生物多様性

①自然共生型農業の普及拡大に向けた機運醸成及び技術普及

取組	取組内容	役割
自然共生型農業 の普及と機運醸 成 知恵のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○農家による生きものモニタリング成果を活用した「(仮称)おおさき生きもの認証」の制度化に向けた研究 ○マーケティングや販路拡大に向けた支援 ○環境保全型農業直接支払の活用による取組拡大 ○自然共生型農業栽培技術講習会の実施 	◎協議会 農協 NPO 各市町

②生きものに着目した評価手法の普及促進と次世代育成

取組	取組内容	役割
取組① 生きものモニ タリング普及 人のつながり 知恵のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○水田モニタリング調査の技術講習会の実施 ○自然共生型農業が与える農業生物多様性の保全上の効果に関する調査・分析 ○「(仮称)おおさき生きもの認証」の制度導入に向けた調査、評価マニュアルの作成 	◎NPO 協議会 農協 大学等 宮城県 各市町
取組② 次世代育成プロ グラムの拡充 知恵のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代育成プログラム「おおさき生きものクラブ」活動と担い手等の育成 ○各農業遺産認定地域間における相互理解・連携学習会の開催 ○学習や活動の成果を共有するためのアーカイブスの作成 	◎協議会 NPO 各市町
取組③ ため池等に おける希少生物 の保全対策 水のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○農業の持つ多面的機能の保全を行う地域組織に対する助成金制度等による「ため池」等の保全活動の推進 ○希少生物の生息域拡大に向けた里親制度の拡充 ○ため池の保全に関する学習会やシンポジウムの開催 ○外来種の駆除に関する技術開発支援 	◎各市町 改良区 宮城県 NPO

③遺伝資源の保全

取組	取組内容	役割
遺伝資源の保 全と販路の多	<ul style="list-style-type: none"> ○古川農業試験場を中心とした耐冷性品種の育成 ○地元種苗メーカー、大学、研究機関との連携による交雑回避技術の指導、遺伝資源の保存 	◎協議会 農協 生協

角化支援 知恵つながり	○研究機関等との連携による6次産業化商品の開発支援	地元企業 宮城県 各市町
--------------------	---------------------------	--------------------

(3) 地域の伝統的な知識システム

① 巧みな水管理基盤の保全

取り組み	取組内容	役割
水管理基盤保全組織の維持 水のつながり 知恵のつながり	○契約講を基層とした水管理基盤保全組織の維持支援 (事務支援、組織間による活動情報の共有、技術講習による指導者育成など) ○環境配慮技術の構築と技術講習の開催、設置支援 ○冷害、渇水時等の気象災害時における番水等の伝統的な水の配分ルールの実験談や対応方法の伝承	◎各市町 宮城県 改良区

② 「やませ」に適應する栽培技術の継承

取組	取組内容	役割
栽培技術指導者の育成 知恵のつながり	○冷害や高温による被害軽減に向けた技術情報の継承と提供 ○地域内農業高校における地域農業に関する共同調査の実施と伝統的な農法の継承に向けたプログラム検討	◎宮城県 農協 NPO 改良区 各市町

(4) 文化、価値観及び社会組織

① 農耕文化の継承と価値共有の仕組みづくり

取組	取組内容	役割
総合調査の実施と教育分野への活用 知恵のつながり 人のつながり	○大学等の研究機関及び地元郷土史研究者を加えた総合調査の実施と調査結果を活かした民俗誌の作成と農耕文化の継承に係る支援 ○若い郷土史家の育成 ○公的教育機関及び生涯教育等における継承の仕組みづくり	◎研究団体 NPO 協議会 大学等 各市町

② 食文化の継承者と発信拠点の育成

取組	取組内容	役割
発酵と食文化研究講座の開催 知恵のつながり	○地域と連携し、発酵食を中心とした食文化の形成経過と調理手法に関する学習会の開催 ○発酵食を中心とした郷土料理に関する「食の文化祭」等の開催	◎協議会 農協 各市町

③ 集落機能の保全と勉強会等による価値の共有の継続

取組	取組内容	役割
社会組織「契約講」の相互扶助機能に関する調査・活用 知恵のつながり 人のつながり	○社会組織「契約講」に関する相互扶助機能と各種災害に対するレジリエンス性に関する基礎調査の実施 ○契約講の機能を活かした地域自治や防災に関する勉強会、セミナーの開催、活動支援	◎協議会 各市町

(5) ランドスケープ及びシースケープ

取組	取組内容	役割
取組① フィールドミュージアム構想の検討 知恵のつながり 人のつながり	「(仮称) 大崎耕土フィールドミュージアム構想」の検討 地域全体のランドスケープの保全と資源の利用に関する検討会を設置し、100年先を見据えた持続可能な保全手法と支援の在り方に関する方針を策定	◎協議会 大学 宮城県 各市町
取組② GIAHS ツーリズムの実施 人のつながり	○GIAHS ツーリズムを核とした都市農村交流の推進 ○地元食材の使用や食文化を継承する事業の実施 ○農業生物多様性の価値と重要性を伝えるNPO等の「翻訳」の育成	◎協議会 NPO 宮城県 各市町
取組③ 多様な主体の参画による保全活動の推進 人のつながり	○企業・消費者団体等による保全・継承に関する支援 ○保全活動組織(ボランティア)の育成	◎協議会 森林組合 NPO 各市町
取組④ 伝統的な保全管理手法の導入 知恵のつながり	○居久根保全に向けた仕組みづくり 居久根の管理への市民・企業参画や新規植栽による再生活動に対する支援の仕組みづくり	◎協議会 森林組合 NPO 各市町

(6) 国際貢献等

取組	取組内容	役割
取組① 共有の場づくり 知恵のつながり 人のつながり	農業生物多様性の保全と生態系サービスの活用に関する国際会議や、海外農業者に対する本地域の水管理に関する研修、自治体やNPO間での韓国やタイ国等海外との交流、国際会議の招致	◎協議会 NPO 農協 改良区 大学等 宮城県 各市町
取組② 農業システムの普及 知恵のつながり	○水田利用や稲作で繋がる東南アジアやアフリカ等を対象とした巧みな水管理を柱とした栽培技術や水管理体制づくりの知恵の共有(インターンシップ) ○世界農業遺産に関する情報発信	

2. 財政的な支援の方法

- 国における既存支援制度の活用
- 県による支援(事業及び研究・普及分野における人的支援を含む)
- 大崎地域世界農業遺産推進協議会の構成市町(大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町)による支援(定住自立圏構想等の制度及び事業、人的支援を含む)
- 協議会を構成する各団体における保全活動
- ふるさと納税制度(個人及び企業版)等や各種認証制度、GIAHS ツーリズム等の一部収益などからなる基金制度の検討等